

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.413



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2013年12月4日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

消費税増税でバス、上下水道料金値上げ

増税分を転嫁するなと古谷議員が反対質問

横浜市は、来年4月の消費税増税に伴い、公共料金の値上げ案を議会に提出しました。市営地下鉄、市営バス、上下水道料金など17事業で消費税増税分の3%相当額が値上げされ、総増税額は57億円となります。実施時期は、地下鉄料金以外は4月から、地下鉄料金はシステム改修に時間を要するため6月からです。

バス乗車料と地下鉄運賃は、ICカードと現金支払いで料金が異なり、現金支払いによってICカードより多く徴収した分を定期券の減額調整などに使う予定です。

横浜市議会で3日、日本共産党の古谷やすひこ議員は、消費税関連について質問しました。(2頁へ)

消費税増税に伴う主な公共料金の値上げ

- バス乗車料 大人 210円⇒220円(IC:216円)
小児 110円⇒110円(IC:108円)
- 地下鉄運賃 初乗り 大人 200円⇒210円(IC:206円)
2区 大人 230円⇒240円(IC:237円)
- 水道料金 15m³/月* 1,749円⇒1,799円
- 下水道料金 15m³/月* 1,323円⇒1,360円

*1戸当たりの1か月平均使用水量

Twitter facebook ご覧ください

消費税増税後の経済動向を見極めよ

古谷議員は、日本共産党が国会で国民のくらしと経済を守るために来年4月からの増税中止の一点で各党に共同を呼びかけていると述べ、林市長に消費税増税で市民生活や市内の景気がどう変わるかの認識を問いました。

古谷議員は、消費税が5%に引き上げられた際にはバス料金にすぐに転嫁しなかった例を上げ、「増税反対だが、4月からすぐに転嫁するのではなく、市民の暮らし向きや経済

動向を見極めることも必要だ」と述べました。

林文子市長は9月議会で「厳しい環境にある中小企業や社会的に弱い立場の皆様などへの十分な配慮を行った上で、消費税を引き上げることは必要」と述べています。古谷議員は「税金の取り方一つで人の生き死にが決まる」として、低所得者向けの配慮を国に求めるとともに、市として料金引き下げを含めた対策を検討するよう求めました。

林市長：市民負担は増えるが・・・

林市長は、消費税増税により市民や中小企業に負担が増加するのは確かであるが、政府の経済対策に中小企業への支援の評価や住民税が非課税の方に対しての現金給付などが盛り込まれており、本市としてもこれらの実施に向けて着実に準備を進めていくと答弁。

消費税転嫁の時期については、消費税は最終消費者が負担することを予定した税であり、公共料金の改定については税負担の円滑かつ適正な転嫁を基本として対処するという国の方針から、来年4月からお願いしたいと述べました。

市民生活を苦境に追い込む転嫁はやめよ

古谷議員は、総務省の家計調査では勤労者世帯の可処分所得は前年同期比で1.5%の実質減少、二期連続で減っているなか、これ以上市民に負担を強いることは市民生活を本当に苦境に追い込むことになるため、転嫁をやめるよう求めました。

●その他、水道利用加入金、工業用水道料金、貸切バス運賃、市立病院等における保険外診療、港湾施設の上屋使用料、卸売市場の市場使用料、施設使用料、食肉市場市場使用料、食肉市場施設使用料、と畜場と室使用料、山下町地下駐車場定期駐車券料金、メモリアルグリーン(芝生型)管理料については消費税増税3%相当分を値上げ

林市長 新市庁舎整備計画 設計変更し 五輪までに完成と表明

林市長は「東京オリンピックの前までに市庁舎移転を図りたい」と先月18日、自民党横浜市議団のパーティの挨拶の中で表明しました。理由は、五輪を機会に、外国のさまざま要人を招いて環境都市などのプレゼンテーションする場にするということです。しかし、そのためには、この3月に出した基本構想よりも2～3年程度スケジュールを短縮しなければなりません。当然、単年度の出費も増え、その分、市民のための施策の予算が減らされることも考えられます。

さらに市長は先月27日、基本計画での新市庁舎の中の民間向けオフィス床整備を止め、延床面積を14万6000平方メートルとして、基本構想から11%縮小に変更すると発表しました。

その結果、賃貸収入は年間11億円に減少。さらに、整備計画の収入に見込んでいる現市庁舎跡地が全く利用されない場合、賃貸収入は2億円になります。移転後29年間で約90億円の一般財源負担が生じるとされています。

その上、603億円を見込んでいた建築費は、設計変更や資材高騰によって613億円に膨らみ、現市庁舎の解体費用や市庁舎の維持費管理費も含めた総事業費は基本計画での1418億円から大幅に膨らむことになりました。

3月に基本構想が発表されてからたった8か月で計画を大幅に変更することは、基本計画自体がずさんだということです。こういう計画は白紙撤回すべきです。

30年前の「ひろや酒店」の絆纏



押し入れを整理していたら懐かしい「ひろや酒店」の絆纏（はんてん）が出てきました。その絆纏を着て、前掛けを締めて、「こんにちは、ひろやです。ご注文ありませんか」と御用聞きをしていた若い頃を思い出しました。そういえばあの頃、町のいろんな人と出会う交流があったことが私のバックボーンになっているんだなと思っています。

秘密保護法案に怒り心頭 連日、青葉台駅前朝宣伝

秘密保護法案を廃案に追い込むため世論を急速に高めようと、私は、党と後援会のメンバーと一緒に、青葉台駅前朝7時半から1時間、宣伝署名活動をしています。臨時国会最終日まで続けます。

川崎市長選を候補者として2度闘った岡本一さんをはじめ、本当に多くの方が秘密保護法案に「怒り心頭」と、この活動に連日参加しています。すすきの団地からバスと電車を乗り継いで参加しているWさん、恩田さんは通勤の前にマイクを握り、原稿を用意して同法案廃止を訴えています（右上の写真）。先日あざみ野駅宣伝の際も飛び入りで参加したTさんは、ビラ配布で頑張っています。

朝の忙しい通勤途中でも、駆け寄ってきた署名をされる方もいます。署



名される皆さんは、本当に、同法案に怒ってます。先日、署名が「大貫さん、駅頭宣伝ご苦労様です」というメモと一緒に、私の家の郵便受けに投函されてました。

安倍政権は、6日の臨時国会会期末に照準を当てて同法案を強行可決しようとしています。なんとしても同法を廃案させましょう。声を上げるのは今です。



ミジンコの独り言 日本で一番食べられている果物、バナナ。一年中比較的安価で打っているバナナは栄養満点で、ひところは朝バナナダイエットが流行った。バナナ生産量の約28%がインドというのは意外だが、それもそのはずほとんど自国で消費されるという。そういえば、バナナが嫌いという人には出会ったことがない。(M)